

先生各位

シリンジ採血に関する注意事項

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、先般からの、医療機器使い回し等の報道により、採血管ホルダーが供給不足となっている事はすでにご存知のことと存じます。

この様な状況を踏まえて、既に真空管採血よりシリンジ採血へ変更されるケースも増加している事から、シリンジ採血時の注意事項などを記載いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

採血量への影響

ガasketの摺動抵抗により、規定量採血ができない場合があります

- ・少量採血品の場合
- ・シリンジの容量が大きい場合 など

検査値への影響



分注する際は、プランジャーを強く押すと溶血の要因となりますので、ご注意ください。

分注する際、採血管とシリンジを寝かした状態でプランジャーを押すと採血管の中の血液が逆流（抗凝固剤が混入）する可能性があります。



採血手順

- 血液の分注は、次の順序行う
- 凝固検査
 - 血球検査
 - その他検査（血糖検査など）
 - 生化学、免疫血清検査など

採血管を手にとっての作業は
行わないでください。

